

2022年度 新人看護職員研修プログラム

作成 2022年3月作成 教育担当責任者 堀越ゆかり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月										
月間目標	1.社会人としての生活に慣れる 2.部署の一員として職場環境に慣れる		1.業務やケアの根拠を考えながら、実践できる 2.複数の患者を受け持ちながら、夜勤業務の流れが理解できる		1.指導を受けながら看護過程が展開できる		1.チームの一員として活動している実感が持てる		1.チームメンバーの役割と責任を果たすことができる		1.自己の課題を明確にし、次年度の目標を立てることができる											
行動目標	1) 社会人としてのマナーを守ることができる ①出退勤時に挨拶ができる ②身だしなみを整える事ができる ③適切な言葉使いができる ④時間を守って行動できる ⑤報告・連絡・相談の必要性がわかる ⑥守秘義務を厳守しプライバシーに配慮する重要性がわかる 2) 病院・看護部の理念、概要がわかる 3) 1日の業務の流れがわかる		1) 看護業務におけるコミュニケーションが円滑にできる ①指導の下担当者の業務ができる ②業務内の報告・連絡・相談ができる ③電子カルテから情報収集ができ実施したケアの入力ができる ④患者の安全確保に配慮できる ⑤交代勤務がわかる		1) 患者・家族・職員と良いコミュニケーションがとれる 2) 複数の患者を担当しながら、日勤メンバーとして看護実践ができる 3) 夜勤業務の概要がわかる 4) インシデント発生時の報告・連絡ができる 5) 助言を得ながら割り当てられた業務の優先順位を考えて行動することができる ①日勤から夜勤の継続性 ②多職種連携の必要性		1) 指導を受けながら看護過程が展開できる ①入院時記録・看護計画・評価・退院時サマリー 2) 日常業務の中で必要な報告・連絡・相談ができる ①患者の変化(症状・検査データ、反応など)に気付く事ができる 3) 指導の下、夜勤業務が実践できる ①助言を受けながら複数の患者の優先順位を考えて行動できる 4) 患者・家族の思いを尊重し行動できる		1) 防災訓練に参加し、災害発生時に決められた行動が実施できる 2) 助言を得ながら、他部門・多職種と連携できる 3) 受け持ち看護師として役割を果たす事ができる		1) 助言を得ながら、自分の看護実践を振り返る事ができる 2) 未経験の技術を習得できる 3) 夜勤メンバーとしての責任と役割を果たす事ができる		1) 自己・他者評価を踏まえ自己の課題を明確にできる									
集合研修	4/4 am ① 看護部オリエンテーション(犬石看護部長) ② 研修制度の説明 ③ 感染予防(藤山師長) ④ 医療安全(藤山師長) pm ① 認知症看護1(深瀬主任) ② 院内見学 16:00頃 各職場へ		5/11 pm ① 検体の取り扱い ② 心電図取り扱い(検査)		6/1 pm 救急救命処置 BLS研修		7/6 pm ME機器取扱い(輸液ポンプ シリンジポンプ 経腸ポンプ その他)		8/3 pm 人工呼吸器取扱い		9/7 pm ① 認知症看護2(深瀬主任) ② リフレッシュ研修(とかみ共生苑の見学)		10/5 pm ① 退院支援2(退院支援チーム) ② 6ヶ月フォローアップ研修		11/9 pm ① 救急救命処置 BLS(2回目)		12/7 pm ① 医療安全の技術(2回目) KYT(藤山師長)		 2/ pm ケーススタディ発表		3/ pm フォローアップ研修(2年目に向けて)	
	4/5 朝から各職場にオリエンテーション 業務見学等		5/18 pm ① 夜勤オリエンテーション ② 医療安全の技術																			
	4/6 am ① 看護記録(Ns 庄司) ② 電子カルテ操作研修 pm ① 食事介助(ST) ② 口腔ケア(DH) ③ 薬剤について(薬局)		5/25 pm 退院支援1(退院支援チーム)																			
	4/13 14:00~ ① 注射の技術(注射・インスリン) ② 採血の技術 インサイト業者																					
	4/20 pm ① 排泄の援助 導尿 留置カテーテルの管理																					
この他、院外研修あり(看護協会 新人研修ⅠⅡⅢ、県連研修)、都度案内します。 学研eラーニングから必須項目の学習も進めます。(別紙で表示)																						